



2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Weekly Report Niigata



2016~17 年度
新潟ロータリークラブ会長
宇尾野 隆



新潟 RC9 月第 1 例会 (2016.9.6) No.3149

- (1) 「君が代」 斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

- (2) 宇尾野 隆会長挨拶

ロータリーの友について

9月3日にIMがホテルオークラで開催され当クラブからは20名が参加しました。今月は、「基本的教育と識字率向上月間」ですが、もう一つ「ロータリーの友月間」でもあります。

今日は「ロータリーの友」についてお話させていただきたいと思います。

「ロータリーの友」は、国際ロータリーの認可を受け、全世界で30誌あるROTARY World Magazin Pressと呼ばれるロータリーの地域雑誌であります。地域雑誌としての「ロータリーの友」は、基本的にはロータリアンのための機関誌・情報誌であり、世界や日本におけるロータリーの状況や活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるように編集されているそうです。

創刊は1953年の1月号であります。1952年に、それまでRIの1つの地区であった日本のロータリークラブが東と西の2地区・60地区と61地区に分割されました。そのとき両地区の会員を結ぶ絆として雑誌を作ろうということで創刊されました。創刊のための第1回準備会は大阪で開催され、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブの代表が出席しました。

西のロータリーは、謄写版刷りの簡単なもので早く創刊という意見であり、東のロータリーは、はじめからある程度きちんとしたものをということで活版印刷を提案し対立したそうですが、結局、活版印刷になったそうです。

第2回目の準備会は、岐阜ロータリークラブの世話で岐阜・長良川の大竹旅館で開催され、次の内容が決定されました。

- 1、編集委員は合議制にする。
- 2、東京にて発行する。
- 3、定価50円とするが、広告を取って100円の内容のある雑誌とする。

- 4、名称は「ロータリーの友」とする。

- 5、横書きとする。

- 6、創刊は1953年1月号とする。

「ロータリーの友」の名付親は岐阜ロータリークラブの遠藤建三さんという方ですが、ヒントは、「主婦の友」という雑誌だということです。余談ですが、ロータリーソング「手に手をつないで」も、1951年4月の2地区に分かれる前の最後の全国一地区の大会で、公募入選曲第一席として盛大に披露されました。作詩作曲は、東京RCの矢野一郎さん(第一生命社長)であります。

そして、その大会の閉会の時に、会員全員で手に手をつないで、手を振り合って歌ったそうでありました。そしてこの時以降、会合の最後に「手に手をつないで」を歌うことが慣例となったということです。この歌もその当時全国のロータリアンを結ぶ絆として作られたのだと思うところであります。話は「ロータリーの友」に戻りますが、現在、ロータリーの友事務所が、編集・発行を行なっていますが、この事務所の運営は、地区ガバナーから委嘱された委員長はじめ、副委員長、委員による常任委員会と各地区から1名ずつで構成されるロータリーの友委員会の合同会議で運営されているそうです。

2015年7月～2016年6月の発行部数は、合計で1,151,100部で、1ヶ月平均95,925部。購買料は、1ヶ月平均18,620,180円、広告料は、1ヶ月486,375円であります。現在の定価は、消費税別で200円であります。その他に、関連する出版物は、ロータリーの友、英語版・ROTARY 世界と日本(広報誌)・ROTARY あなたも新しい風に(新会員勧誘用の広報誌)・ロータリー手帳、その他、音楽では、ロータリーソングCD・インターアクトの歌・ローターアクトの歌CDなどがあります。

今月の第3例会の卓話の講師をロータリーの友編集長の二神さんをお願いしてあります。もっと詳しいお話がお聞きできると思いますので、ご期待いただきたいと思います。

本日は、「ロータリーの友」についてお話させていただきました。

- (3) 米山奨学生
ファミン アイン ホアンさん挨拶・奨学金贈呈
- (4) 100%出席バッチの贈呈
近藤 正典君 1年 武田 眞二君 1年
八島 進君 3年 竹石 松次君 9年
横山 芳郎君 28年
- (5) 誕生日お祝い贈呈 (10名)
- (6) 結婚記念日お祝いの紹介 (7名)
- (7) 委員会報告
- ・吉田会計より前年度決算報告
 - ・監査報告 田中堅一郎監査役
 - ・織戸職業奉仕委員長より 10/25 職場訪問ご案内
- (8) 各種ご寄付の発表
米山奨学会寄付発表(新田 幸壽委員)
宇尾野 隆君 新田 幸壽君
青少年育成基金寄付発表(五十嵐幸雄委員)
白勢 仁士君 五十嵐幸雄君
- (9) 幹事報告(内田 直紀幹事)
- ・例会終了後、定款細則検討委員会を4階「柳の間」にて開催致します。
- (10) 卓話「緑の百年物語」推進運動について
公益社団法人にいがた緑の百年物語
緑化推進委員会常務理事 小林 猛 氏
- (11) 9月 6日例会の出席率 81.91 %
会員数98名(出席免除会員 8名)
出席者77名(出席免除会員4名を含む)
- (2週間前メーク後 86.17 %)
- 9月20日の例会予定
「ロータリーの友月間に因む卓話」
ロータリーの友編集長 二神 典子氏

9月6日 理事会報告 出席者12名

- 1 前年度決算について=前年度決算にいて吉田会計より説明があり承認され、吉田会計が例会で報告することとなった。
- 2 10月の職場訪問について(細野担当理事)
職場訪問について10月25日(火)13時15分 イタリア軒からバスで出発し、日本海エル・エヌ・ジー株式会社を職場訪問する。メークアップ扱いとする。ご家族の方もお誘いする。旨内容の提案があり承認された。
- 3 ロータリー財団 100周年記念シンポジウム公共イメージ向上協力金について
1名当たり250円をクラブ基金から支出しの協力をする。ことが承認された。また11月27日JPタワーホール(東京)で開催される100周年記念シンポジウムに会員が参加可能か確認することとなった。
- 4 桜並木の看板設置について
関屋分水にあるロータリープレートの再設置に関し、費用469,800円の内、五十六会が1/11 を負担。5RCで各85,418円負担することが承認された。
- 5 ロータリー例会案内看板について
イタリア軒1Fの看板に5クラブしか記載されておらず、ホテル名も変わっているので、年度中に変えたい。イタリア軒で開催する新潟クラブの表示だけでよいのではないかと。イタリア軒と打合せし日本語、ローマ字表記とする。等意見が出たが継続して検討することとなった。
- 6 国際ロータリー第2560地区 第1回地区運営検討会 報告
ガバナー事務所の件、ガバナー排出輪番制の件、9月17日に検討会が開催されるので、その後内容を理事会に報告することとした。
- 7 地区ライラ研修について
開催内容について、パンフレットを元に説明があり、次週時クラブへの説明。いくつかの県内クラブを訪問する予定が報告された。
- 8 地区大会登録料負担について
例年通りの登録料のクラブ負担をする事で決定した。
- 9 9月のプログラム=以下の9月プログラムが承認された。
9月6日 卓話「緑の百年物語」推進運動について
公益社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会常務理事 小林猛氏
9月13日 会員スピーチ「新潟の電気の歩みと白洲次郎」
東北電力株式会社 新潟支店 上席執行役員 武田 眞二君
9月20日 ロータリーの友月間に因む卓話
ロータリーの友編集長 二神典子氏
9月27日 卓話「北東アジアの経済と現状」
公益財団法人環日本海経済研究所
調査研究部長 新井 洋史氏
- 10 その他
 - ①内田幹事より納涼例会収支報告
 - ②本間 彊指名委員長より9月末より選考委員会を開催し次々年度会長、次年度役員・理事候補者選考を行いたいとの報告があり了承された
 - ③樋熊 紀雄会員より連合事務局の問題や人事的問題、業務の件、経理財務管理の体制について市内7RCの代表を3チームに分けて検討するとの報告